

議 会

なかいたね

だより

いちねんせい

種子島Fの会 中村 梨佳さん撮影

いちねんせい

175号

令和7年5月9日発行

令和7年第1回定例会

令和7年度当初予算	②～⑥
一般質問(6人)	⑦～⑫
請願・発議・一部事務組合	⑬
条例・同意・その他	⑭
委員会レポート	⑮
移住者インタビュー・編集後記	⑯

合戦略予算81億円

令和7年3月
定例会のあらまし

3月定例会は、3月4日から3月19日までの16日間の会期で開かれました。

初日は、総務文教常任委員会が調査した、学校教育に関する調査報告、職員の給与に関する条例改正など条例案等9件、令和6年度各会計補正予算5議案を、すべて原案どおり可決しました。また、令和7年度施政方針の説明があり、令和7年度各会計の当初予算5議案を一括上程し、各常任委員会へ付託しました。2日目は、6人の議員が一般質問を行いました。最終日は、各常任委員会へ付託された令和7年度予算5議案、発議4件および同意案1件を原案どおり可決・同意しました。

施政方針の概要

●地域経済

- ・バイオ苗供給、振興会、澱粉工場と連携し支援策を検討
- ・農業公社育苗施設の改修
- ・農産物海上輸送支援
- ・肉用牛飼料高騰に対し経営支援事業の発動
- ・安全で効率よく使える漁港の整備

●くらしと福祉

- ・有人国境離島措置法により航路航空路運賃低廉化を継続
- ・老朽化した船舶等の更新要請
- ・親族の介護のための帰省に離島カードの活用
- ・地域再生交付金を活用した地域集落の環境整備
- ・空き家改修にかかる経費の補助額を増額
- ・生活道路・通学路を優先的に維持修繕整備
- ・ともに支えあう共生・協働の福祉社会の実現

●商工観光

- ・老朽化したポイントカードシステムの次世代型への検討
- ・町特産品開発支援事業を創設
- ・グリーンツーリズム等体験交流活動と情報発信

●教育

- ・生きる力生き抜く力の育成
- ・ICTを効果的に活用した授業の改善

●自衛隊基地関連

- ・防衛省との連携を密に町民の声に対処要望する
- ・町民の不安払拭に努めあらゆる情報をお知らせする

●行政

- ・行政課題に対処しながら町職員の情報回復に取り組みます
- ・台風襲来・巨大地震等に備え地域防災訓練等防災力向上に努めます

まち・ひと・しごと総

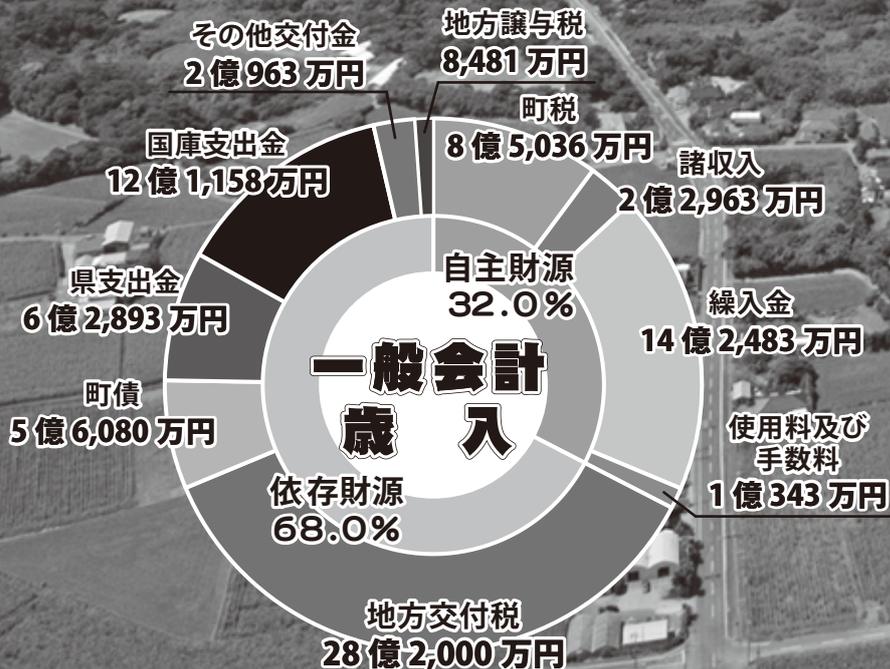
一般会計 歳出

81億2,400万円



一般会計 歳入

68.0%



今年のごととピックアップ

街路灯改修事業

再編交付金
事業



5,497万円

商店街の街路灯を LED に更新します。

畜産業経営支援事業



3,510万円

和牛、肉豚、乳牛に支援

相撲場改修工事



635万円

熊野分団小型動力 ポンプ付積載車



1,705万円

消防分団の積載車を更新します。

南界小体育館床板張替工事



2,225万円

裁断式ホールクローブ 収穫機導入



再編交付金
事業

1,892万円

公共施設トイレ洋式化事業



再編交付金
事業

1,880万円

新年度の予算をチェック!

令和7年度一般会計、特別会計、水道事業会計の当初予算について総務文教及び産業厚生常任委員会により、3月5・6日の2日間の日程で審査を行いました。全ての議案を賛成多数で「可決すべきもの」と決定しました。

予算委員会での主な質疑

総務文教常任委員会

◆社会教育課

問 中学校の部活動移行問題は。

答 よいらいいきスポーツクラブは生涯教育の場であって中学校の部活動には関与しない。島外大会等の遠征については各競技部と顧問の先生と協議する。

◆学校教育課

問 中学校における教育支援センターの開設。

答 社会福祉センター内のフレンドコネクトを利用して生徒の居場所を設置検討中です。

◆企画課

問 特定地域づくり事業についての計画は。

答 令和7年10月に設立を目指して地域おこし協力隊が準備中です。

◆デジタル推進課

問 電子機器リース料が2

800万円の内容は。

答 全国に繋がっている住基ネット関係、行政の通信ソフト等動かす仮想サーバーを含めた金額です。

◆給食センター

問 給食費補助は前年比どれくらい増額か。

答 食材費の高騰により4月から値上げ予定、約289万円ほど増額しています。

◆税務課

問 賦課徴収費が2300万ほど減額になっ

ているが。

答 全棟調査終了に伴う減少です。

◆総務課

問 庁舎内防犯カメラの設置状況は。

答 1階、2階事務所に各2台、正面玄関から駐車場に向けて1台の設置で計5台です。

産業厚生常任委員会

◆空港管理事務所

問 人件費の高騰で歳出が増額しているが県に予算増の要請はしているか。

答 諸経費の高騰を踏まえ要求しています。

◆建設課

問 県単道路事業屋久津工区の内容は。

答 県の屋久津道路改良に伴う一割の町負担金です。

◆農業委員会

問 農地利用最適化委託

金が昨年より減額されているが。

答 委員の活動日数内容により減額されています。

◆町民課

問 マイナ保険証への移行状況は。

答 7月から現行の保険証は使えませんが、窓口にて保険証との紐づけを確認しています。

◆中央保育所

問 定員140名に対して85名に減少している要因は。

答 出生数の減少により入園者が減ってきている。

◆農林水産課

問 畜産業経営支援事業の内容は。

答 和牛1頭あたり1万円、肉豚千円、牛乳1リットル当たり5円を支援します。

◆地域福祉課

問 重層的支援体制整備事業の内容は。

答 介護、障害、子育て、生活困窮にに応じて包括的に支援相談機能の強化を図る事業で令和6年度から実施しています。

問 介護予防、生活支援サービス等デイサービス利用の個人負担は。

答 所得に応じて1割から3割となっています。



▲審査の様子



▲審査の様子

一般会計

81億2,400万円【前年度比3.9%】

特別会計	国民健康保険事業勘定	13億9,011万円	【前年度比 △3.7%】
	介護保険事業勘定	12億1,075万円	【前年度比 0.9%】
	後期高齢者医療	1億6,492万円	【前年度比 4.5%】
公営企業会計(上水道事業)収入		3億963万円	【前年度比 △3.2%】
公営企業会計(上水道事業)支出		3億2,629万円	【前年度比 △2.5%】

令和7年度実施予定事業（再編交付金）

事業名	事業の内容	事業費
公共施設トイレ洋式化事業	洋式トイレ設置工事	1,880万円
地域防災計画他改訂業務	防災計画、業務継続計画等改訂	1,552万円
地域公共交通確保事業	コミュニティバス及び乗合タクシーの運行経費	2,816万円
副食費助成事業	保育所、幼稚園児の副食費無償化	1,210万円
予防接種事業	インフルエンザ接種の無償化	941万円
予防接種事業	新型コロナワクチン接種の無償化（65歳以上）	1,753万円
裁断式ホールクロープ収穫機導入事業	飼料用イネ収穫機	1,892万円
漁業操業支援事業	操業支援	462万円
街路灯整備事業	街路灯の設置工事	5,497万円
自然レクリエーション村整備事業	旧管理棟解体工事、休憩所等新築実施設計	1,389万円
伏之前第2公園休憩所等整備事業	休憩所新築	4,367万円
消防・救急資機材導入事業	消防・救急資機材購入	2,039万円
小学校特別教室空調機新設事業	油久・南界・岩岡小 空調機新設	4,791万円
学校給食事業	給食センター運営、給食費無償化	8,852万円
給食センター建替事業	用地測量設計	262万円
種子島中央体育館改修事業	屋上改修等	1億9,668万円
種子島中央武道館改修事業	屋上改修等	6,547万円
合計		6億5,918万円

[別表]

令和6年度会計別予算額

会計名	(補正号数)	補正額	補正後の予算額
一般会計	(第8号)	△1億9,011万円	81億7,865万円
特別会計	国民健康保険事業	(第5号) △202万円	14億2,756万円
	介護保険事業	(第5号) △6,157万円	12億3,732万円
	後期高齢者医療	(第4号) △76万円	1億6,671万円
水道事業会計(収益的支出)	(第5号)	960万円	3億6,676万円

令和6年度補正予算第8号補正では、障害サービス費、老人保護措置費（つまばに苑支援分）の増額および各事業の実績見込みによる執行残額等の減額を計上しました。会計毎の補正額と予算の総額は、別表のとおりです。

補正の概要

町政を問う!!



池山 朝生 議員

- ・災害対策について
- ・スポーツ少年団の助成について
- ・施政方針について



QRコード



永濱 一則 議員

- ・持続可能な農業経営について



QRコード



戸田 和代 議員

- ・農業振興について



QRコード



秋田 澄徳 議員

- ・さとうきび産業の振興について



QRコード



浦邊 和昭 議員

- ・令和9年4月の選挙について



QRコード



大町田 勇希 議員

- ・施政方針について



QRコード

※QRコード・・・インターネットにより録画を見ることが出来ます。

一般質問とは

一般質問とは、議員が町政全般にわたり、執行機関に対して事務の執行状況及び将来に対する方針等について所信をただし、あるいは報告、説明を求め、又は疑問をただすことです。

なお、議員一人につき60分の時間制限を設けています。



田淵川 寿広 町長

命の道路 完成を急げ

町長 現行の計画で進める



池山 朝生 議員

池山 (熊野・新町・塩屋245人の命を守れ) 何よりも、町民の生命、財産が優先されるべき

町長 津波発生時の避難道路の一つとして事業を進めています。現時点では道路幅員もある程度確保されており、現行の計画で事業を進めていく所存です。

池山 南海トラフ地震に備えての津波避難対策としての改良舗装事業(本村集落と塩屋集落を結ぶ幹線道路2564m)は、平成25年から始まり、残り完成まで、9年かかる計画である。

いつ起きてもおかしくない南海トラフ地震、事業の早期完成に向けて計画の見直しをやるべきである。



▲町道坂井熊野線

災害関連死5456人、ポータブルトイレの備蓄はあるか
町長へ早急に整備を進める

池山 阪神大震災以降、30年間で災害関連死が

であり、他の事業に対しての整合性は十分にある。青函トンネルも24年で完成している。自治体を預かる長として、早期完成を急ぐべきである。強く要望する。

教育長 検討しました。

池山 この質問は、令和6年6月議会で質問している。スポーツ少年団助成の検討はされたか。

スポーツ少年団遠征費の助成検討は
教育長へ助成を受けられなかった団体の助成も可

町長 ポータブルトイレの備蓄はありません。東日本大震災、能登半島地震等、過去の災害においてもトイレの問題の重要性は、深く理解している。早急に整備を進めて行きたいと考えています。

5456人、避難所の環境という中でもトイレ問題は重大である。ポータブルトイレの備蓄はあるか。

求められている。これ

池山 自治体は、自らの地域の発展や福祉を追求するために、住民の意見やニーズを反映させた政策や計画を作成し、実施することが

教育長 まだ、勉強不足のところがあります。

池山 住民自治の原則をご存じか。

公平性を確保するため、県交歓大会出場という制限を撤廃し、各団体が島外遠征を行う際、遠征の回数に関わらず、一回のみ支給することとしました。これにより、これまで助成を受けられなかった団体も支給可能となるよう4月のスポーツ少年団常任委員会総会に提案します。

かせ。

池山 「何もやらなかったら何も変わらない。」53億の再編交付金を活かす。

町長 大きく変化するであろう社会経済活動を慎重に見極め、行政運営を進めていきます。

池山 一次産業の振興のために具体的何をやるとか見えない。例えば、肥料・物価高騰の経済の中、堆肥施設のつくりとかの肝いりの施策が無い。全てが漠然、抽象的である。

が住民自治の原則です。「まさしく住民、子を持つ親の声である。」住民の意見やニーズは、この声です。



永瀆 一則 議員

現在の農業情勢をどう捉え その打開策は

町長 物資の高騰が否めない 町単独事業・国県の施策活用

永瀆 我が町の基幹産業であるキビ、甘藷の作付け面積も減少傾向にあり、澱粉工場も原料不足で経営が難しくなっている。この状況

をどのように捉え、その打開策は。

町長 キビの作付け面積は、ここ5年間で横ばいの1164haであるが、サツマイモは、5年前の487haから207haまで減少し、澱粉工場経営を大変危惧しているところであります。打開策としては難しいものがあります。面積減少の主な原因である基腐れ病については、発病後の特效薬がないため、依然として厳しい状況が続いています。現在、幾分か減少傾向にあります。熊毛支庁を中心とした熊毛地区さつまいも基腐れ病対策プロジェクトチームの活動などの成果が出ているところがございます。今後もキビ・甘藷ともに町単独補助事業・国、県の施策を活用しながら農家の皆さんが少しでも助かる方向で進めていければと考えているところではあります。

永瀆 これからの農業

従事者の発掘については。

町長 外国人労働者などを視野に熊毛支庁、農政普及課などと連携しながらどのような方針で進めるのか対応しており、実際にこれを利用して労働者を雇っている農家が少しです。

永瀆 安価で提供できる公共もしくは第2・第3セクターあるいは指定管理者運営の堆肥センターの考えは。

町長 農業にとって堆肥が重要であること認識は一緒でございます。しかし、設立となった時に、運営費やランニングコストが非常に厳しいことが予測されます。堆肥の生産ではなくて堆肥を鹿児島県内からの受け入れをする場所自体の運営というのには必要になってくると考えていますので、その精査をしながら農家が使いやすい金額となるようサポートしていきます。



浦邊 和昭 議員

令和9年4月の選挙について

町長 現時点で考える時期ではない

浦邊 先ほどの3人の一般質問を通して、まさに農業の町中種子だけあって熱い質問、そして答弁を聞いた中で、町長は次の期にも欲があるように感じました。そこで令和9年4月の選挙に出馬するのか伺いたい。

どの連携による本町の活性化や魅力の発信など一生涯懸命取り組む時と思いい、現時点で真にそういったことを考えている時期ではないと思っているとあります。

浦邊 確かにこういう質問は早いという思いはあります。

町長 おかげさまで3期2年が過ぎ10年となります。この間、町民の皆様から助けていただきながら務めてこられたことに、心より感謝を申し上げたいと思います。本町での農林水産業の産業振興や現在の物価高騰対策等、効果的な法的措置を訴えながら有人国境離島の法の継続、そして改正を強く訴えていかなくてはならない時期です。また居住予定の航空自衛隊との連携、現在進行中である民間企業な

1期目は激戦の末初当選、2期、3期目は無投票でした。しかし、残す2年の現時点で誰も名を挙げてきません。選挙が無ければ平和的でとても静かですが、無投票は残念です。論戦を交わして町民にこの人ならばと選んでいただくことを望みます。町長におかれましては、なるべく早く表明していただき、他の候補者が現れて町発展のために選挙戦を繰り広げてほしいと思っております。



戸田 和代 議員

引き続き要望活動とは

町長 農林水産業の問題点を引き出し実現に向けて



▲サトウキビの収穫の様子

戸田 施政方針の農林水産業に従事する皆さんが意欲を持ち、誇りを持って取り組める農林水産と活力のある豊かな農山漁村づくりを進めるため引き続き国に要望活動を進めていくと述べていますが、どのようなことなのか。

町長 これまでも畜産を含め、離島での農業振興を図るため様々な要望を続けており、島の農業それぞれの作物ごとの抱える問題点を洗い出し解決に向けた施策の検討を行い、その実現に向けて国へ要望してまいりたいと思います。

戸田 農家が岐路に立っています。安納いも基腐れ、子牛の価格は昨年の5・6月頃から急落、基金事業、補正予算をいただきながら農家の皆さんは努力しています。基金事業、補正外にも何か要望する考えはないのか。

町長 農家振興については、熊毛支庁、農政普及課と連携をとりながら国へ要望します。その後、直接要望する場合があります。

戸田 農家が岐路に立っていますが、要望活動は。境離島法の期限を迎えますが、要望活動は。

町長 特に今年から来年にかけて重要な年です。令和9年3月までの期限です。令和7年はそれに向けて玉出しをする時期ですので、特に農業振興のみならず国土を守るため離島での生活を安定させる大きな目的を持っています。

戸田 厳しい国の財政状況の中の事業獲得は、大変だと思う。その事業の中に農林水産業の支えは。

は、農業のみならず例えば高速船であったり、航空機であったり、離島カードである程度島民以外の方より安く利用していただいていると思いますが、これは国の補助、県の補助、町も負担しております。いろいろな課題、当然農業にも当てはまると思いますので離島での農業振興というところを強く国に対して訴え、全国離島振興協議会の中でも今年の時限立法の期限切れに向けて延長と改正というところを強く申し述べていきたいと考えています。

戸田 2年後に有人国

有人国境離島法の期限を迎えるが町長へ全国離島振興協議会の中でも強く要望

町長 有人国境離島法



秋田 澄徳 議員

糖蜜タンク増設の検討を

町長 製糖工場と協議する必要がある

種子島糖業振興会の対応策

秋田 糖蜜運搬船の故障により生産者や製糖業界に深刻な影響が生じ、農家の収入途絶や畜産農家の飼料調達難、関連事業の資金繰り悪化など、糖業関連産業の停滞が広範囲に及びました。試算しましたが、全島の経済停滞額は約5.5億円、糖業の経済効果では約22億円。中種子町では原料収入減が約2.9億円、経済効果の停滞額は約1.6億円です。今回の教訓を生かした改善策が求められますが、種子島糖業振興会の対応策について伺う。



▲糖蜜タンク1,300トン級
(新光糖業株式会社所有：島間港)

町長 糖蜜船の故障により、製糖工場の集荷が約1か月間中断すると想定され、これに対応するため、臨時総会を2回開催し、糖蜜船遅配による原料集荷計画の変更や影響の検討を協議しました。農家や関連業者へは、防災無線や振興会組織を通

じて迅速に情報を伝達しています。また、2月24〜26日にかけて各市町で生産者向け説明会を実施し、製糖工場が原因や経緯を説明しました。さらに、各市町、JA、関係機関と連携し、経済的に負担が大きい時期に対応できるように、融資や雇用に関する相談窓口を設置しました。

糖蜜タンクの増設を

秋田 将来、同様の事態を防ぐため、糖蜜タンクの増設が必要と考えます。約20日分の産出量を貯蔵できる規模として約1.5億円を要しますが、国の補助事業により1000トン

級を設置して生産体制の安定化を図り、補助残については緊急対応策として1市2町が応分負担を。この課題は製糖工場単独ではなく、種子島全域に関わる問題であり、1市2町が一体となり製糖工場と連携して対策を進める必要があると考えます。種子島糖業振興会が主体となり、糖蜜タンク設置の検討を進める提案について伺う。

新たな循環型農業構築計画を

秋田 今回の事態を契機に、最終糖蜜を有効活用し、種子島の農作物に還元する循環システムの構築が必要と考えます。糖蜜を農作物

に利用する適正なバランスの調査研究を実施し、その成果を各市町で活用する取り組みとして、新たな循環型農業構築計画策定の考えはないか伺う。

町長 新たな循環型農業構築計画を策定せずとも、熊毛支庁の農政普及課が試験調査を実施しています。最終糖蜜の有効活用については、今回の事態を受けて検討・協議の余地が十分にあると考えます。製糖工場では、島内での処理方法としてほ場散布の検討や肥料登録の手続を進めており、糖蜜やバガス、フィルターの副産物の利活用について、糖業振興会が市町や関係機関と連携しながら検討し、また、研究機関には散布方法の早急な対応を強く要望する考えです。現時点では、取引業者や糖蜜船の反応を踏まえた検討が必要であり、計画策定は考えていません。

未利用資源の有効活用とは



大町田 勇希 議員

町長 循環型農業につなげていく

大町田 未利用資源の有効活用とあるが、この具体的な内容について問う。

過剰生産時の引取りには課題が発生しているところがございます。関係機関と連携をして利用の促進を図ってまいりたいというふうに考えております。

町長 行政的に協力できるところ、また、未利用資源を活用した商品開発等の研究等に関しては、行政でできる支援というものを行っているところですが、

では、引き続き基幹作物のさとうきび、でん粉原料用さつまいもをはじめ、水稲や園芸品目の安納芋、ブロッコリー、バレイショなどが主な作物になると思いますが、あわせて畜産業においては、本町の農林水産業全体の生産額の約3分の1を占めている状況でございます。

の、やはり資材飼料の高騰というところで、大変厳しい状況にございます。畜産業を重点的に支援するために国の重点支援地方創生臨時交付金を活用して、畜産業経営支援対策事業を予算化させていただいておりますので、そういったところも含めて、重点事項になるのだからというふうに思います。事業内容としては、昨年度の販売実績などにより和牛子牛に1頭当たり1万円、肉豚に1頭当たり千円、酪農の生乳に1ℓ当たり5円の支援を行う事業です。

町長 未利用資源の活用は、地域循環型農業の取り組みの中で生産性の向上につなげていきたいと考えているところでございます。

令和7年度からは、熊毛支庁が製糖工場の副産物での堆肥化実証を実施予定でございますので、工場の地元行政としては、協力体制、これは整えていきたいというふうにご考えております。

まだ物としてしつかり出来上がってきていないという現状ですの、具体的には報告がまだでき得ないところでございます。

基幹作物については、これまで同様に引き続き補助事業などを継続し推進を図ってまいりたいというふうに思います。令和7年度においては、バレイショの更新用種芋の支援を行っていききたいと考えています。

重点を特に置きます

令和5年度に実施した未利用資源に関するアンケート調査、これでは製糖工場から出るバガス、フィルターケーキ、最終糖蜜、焼灰、さとうきびの精脱工場から出るはかま、漁協からの魚の頭と骨、剪定の木などが挙げられました。

大町田 未利用資源の有効活用支援といった部分においては、中種子町は具体的に何ができて何をしようとしているのか、あれば伺う。

町長 産業振興の観点からやはり本町の基幹産業である農業に関する資源もありませんが、

既にも有効利用されている資源もありませんが、

既にも有効利用されている資源もありませんが、

既にも有効利用されている資源もありませんが、

既にも有効利用されている資源もありませんが、

既にも有効利用されている資源もありませんが、

既にも有効利用されている資源もありませんが、

既にも有効利用されている資源もありませんが、

請願

小規模校問題対策に係る請願書

総務文教常任委員会

に付託され継続審査となっていた「小規模校問題対策に係る請願書」について審査を行いました。

審査の結果、「子どもファースト」の観点から教育環境の適正化を図る必要があるのではないか、人口増加につながる総合的な施策や経済対策も必要ではないかなど、質疑、討論を行いました。

教育環境の適正化は、就学児・未就学児の保護者の願意であり、本町の出生数の著しい減少傾向に伴い、早急に改善する必要があることから、採択すべきものと全会一致で決定しました。

なお、決議についても、提出するものと決定しました。

発議

議会の個人情報保護に関する条例の一部改正

中種子町議会の個人情報保護に関する条例（令和4年条例第23号）を地方自治法第112条及び中種子町議会会議規則第14条第2項の規定により一部を改正する。

本町の出生数の著しい減少傾向に伴う児童の教育環境の整備・取り組みが求められ、町民の意向も踏まえた、様々な議論により方針を決定していくため、議会としての考え方を

取りまとめ、以降の点について要望する。①小規模校の集団学習機能が果たせる教育環境の整備・取り組みに関し、小学校の規模適正化に向けた検討組織を設置し、早急に検討すること。②再編を考慮する際には、再編までの期間を可能な限り短縮すること。また、その間は、集団機能が果たせる教育環境の整備・充実を図ること。

の様々な課題が山積しており、統廃合を含めた協議も必要であり、児童数の減少も進行していることから早急な対応・改善策が必要なため、特別委員会の設置を求めるもの。

委員 池山喜一郎
副委員 橋口涉
外9名
（議長を除く全議員）

議員報酬等調査特別委員会設置
【趣旨】

議会のあり方、議員報酬・定数等に関し調査が必要のため、特別委員会の設置を求めるもの。

委員 梶原哲朗
副委員 秋田澄徳
外9名
（議長を除く全議員）

町立学校調査特別委員会設置
【趣旨】

本町の児童生徒数の減少に伴い、町内学校

一部事務組合

中南海衛生管理組合議会

令和7年第1回定例会（2月25日）

令和7年度一般会計予算の総額は、歳入歳出それぞれ1億1369万4千円と定めるものです。

種子島産婦人科医院組合議会
令和7年第1回定例会（2月3日）

令和7年度医院組合事業会計予算（予定額）は、事業収益の収入及び事業費用の支出をそれぞれ3億1200万円と定めるものです。

公立種子島病院組合議会

令和7年第1回定例会（2月25日）

令和7年度病院事業会計予算（予定額）は、収益的収入を7億7865万7千円、同支出は10億7121万5千円に、資本的収入は、1億7643万6千円、同支出は1億7743万7千円と定めるものです。

種子島地区広域事務組合議会
令和7年第1回定例会（2月3日）

令和7年度一般会計予算の総額は、歳入歳出それぞれ8億721万9千円と定めるものです。

熊毛地区消防組合議会

令和7年第1回定例

条例

職員の給与に関する条例の一部改正

例の一部改正

人事院勧告に伴う国家公務員の給与法改正法案に準拠し、扶養手当の改正、昇給号俸数の変更、再任用職員への住居手当の追加、3級以上の職員の給料表の変更などを行うための改正をするものです。

職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正

新型コロナウイルス

感染症対策業務に係る防疫等作業手当の特例が廃止されたことに伴い改正するものです。

職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正

改正

職員の勤務時間を考慮して時間を割り振るフレックスタイム制の導入、又育児休業、介護休業などの育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律の改正により仕事と介護の両立支援制度の強化のため改正するものです。

中種子町税賦課徴収条例の一部改正

例の一部改正

軽自動車税種別割の納期に関して賦課期日4月1日時点での新規・廃車などの状況を確認できる期間を確保し、より適正な課税を行うとともに納税通知書の到達から納期限までの期間を十分確保することで納税者の利便性向上を図るため改正するものです。

職員の育児休業等に関する条例の一部改正

人事院勧告に伴い、

仕事と子育てを両立しながら職務に専念できる働きやすい職場づくりを構築し、職員の確保および任用の継続を推進するため育児部分休業制度を拡充するものです。

中種子町子ども医療費助成条例の全部改正

子育て世代の経済的負担を軽減し、子どもを育てやすい環境づくりを推進するため、現行の条例について、名称を「中種子町子ども医療費給付条例」に改

め、住民税非課税世帯に限定だった現物給付方式(窓口負担0円)を、すべての子育て世帯に拡充するものです。

教育長任命の同意について

教育長の任期が4月15日で満了となることから、引き続き鮫島孝

則氏を教育長として任命することについて同意を求められ、投票の結果全会一致で同意されました。新たな任期は、4月16日から3年間となります。

同意

教育長任命の同意について

教育長の任期が4月15日で満了となることから、引き続き鮫島孝



迫田秀三議長に 全国町村議会議長会表彰

迫田秀三議長は、町議会議員として議会の運営及び地域の振興に特に貢献されたとして、全国議会議長会から表彰を受けました。



鮫島 孝則氏

私たちの学校の 調査に来ました



▲岩岡小学校



▲南界小学校



▲増田小学校



▲納官小学校

2月5日、教育委員
会職員の出席を求め、岩
岡小学校・南界小学校・
増田小学校・納官小学
校の順で調査を行いました。

岩岡小学校

●児童数13名

校訓に「かしこくなが
よくげんきよく」、キャッ
チフリースとして「ウミ
ガメと花と一輪車の学
校」を、教育目標に「心
豊かでたくましくひとみ
輝く岩岡の子を育てる」
を掲げ、教師・児童一
体となった豊かな体験活
動の実践や豊かな心を
育む道徳教育の充実を
図りながら、継続的な
気力、体力づくりの推
進に取り組んでいます。

▽主な質疑

問 留学生と在校生との
最初の出会いとその後の
溶け込みは。

答 何々兄ちゃんと呼ぶな
どアットホームな感じで、
溶け込むのに時間がかか
らなかった。

南界小学校

●児童数13名

校訓に「やさしくかし
こくたくましく」、キャッ
チフリースとして、「楽
しい学校 元気な学校
地域と共に伸びる南界
小学校」を、教育目標
に「思いやりの心と確か
な学力をもち、心身と
もにたくましく生きる
個性豊かな児童の育成」
を掲げ全ての児童が主
役になる活気ある学校
を目指す特色ある教育

▽主な質疑

を推進しています。

問 PTAや校区から、学
校再編についての意見・
要望は。

答 保護者同士の中では、
このままではという意見
があるのと伺っています。
直接学校に申し出はあ
りません。

増田小学校

●児童数26名

校訓に「進んで学ぶ
子やさしい子たくまし
い子」、キャッチフリース
として、「花・夢・あい
さつでやさしさいっぱい
増田小」を、教育目標
は「自ら学び、思いや
りの心を持ち、心身と
もにたくましい子供を育
成する」を掲げ、家庭

▽主な質疑

と地域との連携・協力
を深め、教育環境の充
実と地域の教育力を生
かした教育活動を推進
しています。

問 南海トラフ地震が想
定される中で津波に対
する避難訓練の実態は。

答 津波を想定して、高
台に避難するルートを確認
するなどの訓練を行っ
ています。

納官小学校

●児童数19名

校訓に「考える子、
助け合う子、きたえる
子」、キャッチフリースと
して「笑顔いっぱい、花
いっぱい、夢ひろがる納
官小」を、教育目標は
「夢に向かって学び続け

▽主な質疑

る、心豊かで夢広がる
納官小」を掲げ道徳教
育の充実やICTを活用
した学習の高度化に取
り組み、自然豊かな地
理的環境を生かした活
動等、特色ある教育を
推進しています。

問 いじめや不登校の実
態、それに対する対策・
対応は。

答 実態はありません。
研修会への参加、児童と
の対話を重視し発生防
止に努めています。

学校施設整備につい
て、現地調査・説明を
受けました。

まとめ

児童数の減少傾向が
顕著で、学校においては、
養護教諭が欠員など教
職員の減少により健全
な教育環境を維持でき
ない状況も発生していま
す。今後、行政・学校・
地域が連携し、児童へよ
り良い環境を提供し、
各学校の教育目標達成
のため精一杯取り組ん
でいきたい。

Youは何しに中種子町へ?

Why did you come to Nakatane?



移住者・Uターン者
インタビュー



このコーナーは、中種子町に移住・Uターンされた皆さんに登場していただき、もっと議会だよりを身近に感じて欲しいと思います。また、ご一報いただければ取材にお伺いします。よろしくお願いします。



Conditioning Gym **THANKS**
サンクス
～中種子筋力再生道場～



中種子筋力再生道場
THANKS
サンクス

◆自己紹介をお願いします。
鹿兒島市吉野出身野間校区在住
屋田 健^{あたま} (59)

◆移住のきっかけは?
中種子中学校の教員を経て、人のためになる新たな事業をしたいと思い、早期退職し起業しました。地元鹿兒島をと考えていましたが、お世話になった中種子に恩返しをしたいと思い、こちらを選びました。
◆現在のお仕事は?
サービスマスター、ジムトレーナー、広島お好み焼き屋(金曜日テイクアウトのみ)。
◆趣味は?
カヤック、剣道。
◆議会・行政について?
一次産業への多角的な

支援や若者が就農するような仕組みが作れないかと思っています。町の出身者や若者が帰ってきたくなる一次産業はできないものか、全国どこでも同じ悩みだと思いますが、政治・行政の力で改善できればと思います。
◆何か一言?
現在、THANKS(サンクス)というジムを営んでいます。このジムでは筋力トレーニングだけではなく、体のコンディション(状態)を整えることもしています。膝や腰、関節の痛みが気になる方は一度体験に来られて下さい。目標は中種子町から関節痛を取り除き、介護になる人を一人でも減らしたいと思っています。

議会傍聴においでください。

令和7年第2回(6月)議会は11日に開催予定です。

中種子町議会では、インターネット(YouTube)で本会議の中継を視聴することができます。会議録も議会ホームページに掲載しています。是非ご覧ください。



議会HPのQRコード

編集後記

新緑がまぶしい季節となりました。春から初夏へと移ろう中、皆様いかがお過ごしでしょうか。新入生や新社会人の方々は新たな環境に順応してきた頃かと思えます。新たな環境では様々な発見や違いに戸惑うことがありますが、お体に気をつけて、勉強や仕事に邁進していただければと思います。

広報委員会は委員長をはじめ、町民の皆様にはわかりやすい紙面の作成に心がけております。本号が、議会を少しでも身近に感じてもらいたくきっかけとなれば幸いです。今後ともご意見・ご感想をお寄せください。

広報編集委員会

- 委員長 橋口 渉
- 副委員長 大町田 勇希
- 委員 永濱 一則
- 委員 戸田 和代
- 委員 秋田 澄徳
- 委員 梶原 哲朗

